

【算数科の目標は…】

「算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。」ことです。

【5年生では、こんな力を育てます】

<p>★ 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。</p>	<p>★ 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。</p>
<p>★ 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。</p>	<p>★ 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。</p>

口田小学校では特に…

- ① 算数の時間には、子どもたちの考える力を育成する授業づくりを目指し、操作・絵や図・言葉・式という四つの表現方法を関連付け、思考力を育てます。
- ② 算数科への興味・関心が高まるように、算数的活動やコミュニケーション活動を積極的に取り入れて学習活動を多様化し、学習の楽しさや充実感が味わえるようにします。
- ③ 子どもたちの算数的な価値や方向性をもった言葉や考えに指導者が気づき、子どもの考えを生かす授業をつくることを目指します。

【評価について】

- ★ 次のような内容を総合的に組み合わせて評価していきます。
- ・ 学習への意欲や関心
 - ・ 授業中の態度や発言
 - ・ ノートの使い方
 - ・ 学習プリントへの自力解決時・集団解決時の思考の表現
 - ・ 学習の振り返り
 - ・ テスト、プリント
- ★ 習ってすぐの学力より学期末・学年末においても定着している学力を重視して評価します。

【おうちの方へのお願い】

- ★ 学習内容の定着を図るために、家庭学習として子どもたちに計算ドリルを中心に課題を出しています。おうちの方でも時々様子をみて励ましていただければと思います。
- ★ 算数の学習では次のものを使います。
- ・ 分度器 ・ コンパス ・ 三角定規
 - ・ ミニ定規 ・ 赤鉛筆
- いつでも使えるように用意しておいてください。
- ★ ノートは5mm方眼のノートを使います。年度当初は学校から配布したノートを使い、使い終わった時点で、同じノートを各家庭で用意してください。

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	○ 整数と小数	○ 整数及び小数について、十進位取り記数法によって表されていることに着目し、十進数としての特徴を総合的に理解し、計算などに有効に用いることができる。
	○ 直方体や立方体の体積	○ 立体の体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算で求めることができるようにするとともに、体積についての量感を豊かにすることができる。
	○ 小数のかけ算	○ 乗数が小数の場合の乗法の意味や計算の仕方について理解し、それをを用いることができるようにするとともに、小数の場合でも整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解することができる。
5	○ 小数のわり算	○ 除数が小数の場合の除法の意味や計算の仕方を理解することができる。
6	○ 単位数あたりの大きさ	○ 平均の意味を理解し、それをを用いることができ、異種の2量の割合としてとらえられる数量について、比べることの意味や比べ方、表し方を理解し、それをを用いることができる。
9	○ 合同な図形	○ 図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、合同な図形をかくことを通して、平面図形についての理解を深めることができる。
	○ 偶数と奇数、倍数と約数	○ 偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深めるとともに、整数の見方や数についての感覚を豊かにすることができる。
	○ 分数と小数	○ 分数の見方や表し方及び分数と小数、整数の関係について理解し、分数についての理解を深めることができる。
10	○ 図形の角	○ 三角形や四角形の内角の和について、図形の性質として見出し、それをを用いて図形を調べたり構成したりすることができる。
11	○ 分数のたし算とひき算	○ 分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにするとともに数についての感覚を豊かにすることができる。
	○ 四角形と三角形の面積	○ 平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式をつくり出してそれらの面積を計算で求めることができる。
12	○ 百分率とグラフ	○ 資料における数量の比較や全体や部分の関係の考察などで割合を用いる場合があることや、その表し方についての百分率について理解するとともに、資料を円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができる。
1	○ 正多角形と円周の長さ	○ 観察や構成を通して、正多角形の意味や性質についての理解をするとともに、円周率の意味や直径、円周、円周率の関係について理解し、それをを用いることができる。
	○ 分数のかけ算とわり算	○ 分数×整数、分数÷整数の計算の意味や計算の仕方について理解し、それをを用いることができる。
2	○ 角柱と円柱	○ 観察や構成を通して、角柱、円柱の意味や性質について理解し、空間についての感覚を豊かにすることができる。
3		